



福島県

面積約1万3,780km²。人口約195万人。北部に位置する二本松市には青年海外協力隊が派遣前に滞在する訓練所があり、これまでに巣立った隊員は1万人を超える。また、福島県出身の隊員は「うつくしま国際協力大使」に任命され、福島県と世界の懸け橋となることが期待されている。

地域に支えられた 訓練所が20周年

郡山市から東北本線で約20分、福島県の内陸部にある二本松駅。ここでは3カ月に1回、ある光景が見られる。駅に続々と到着する若者たちが、市内から車で約20分、青年海外協力隊の訓練所へと向かう。派遣前の約2カ月半、活動する国の言語や開発途上国で暮らすためのノウハウを学ぶのだ。緊張した面持ちの彼らを、「ようこそ二本松へ」の横断幕を持った地元の人たちが温かく迎える。にほんまつ地球市民の会のメンバーだ。

2014年は、二本松訓練所設立から20年の節目の年。自身も協力隊出身の北野一人所長は、「これも支えてくれた地域の力のおかげ」と話す。11月15日に開催された20周年記念式典では、県や市はもちろんのこと、隊員が普段利用している岳温泉のお店やクリーニング店、タクシー会社など、地域に根付いた100以上の団体に感謝状が送られた。

「隊員の皆さんには、復興に取り組み、新生ふくしまの姿をそれぞれの活動国で伝えてほしい」と式典で話したのは、村田文雄福島県副知事(当時)。東日本大震災以降、訓練期間中には被災地を視察する機会がある。国際社会での風評被害の払拭のため、福島県の姿を伝えるのも隊員たちの使命なのだ。訓練所は、途上国に送り出すだけの一方通行の場所ではない。北野所長

る協力隊の力

東日本大震災からまもなく4年になる。福島県では、世界に羽ばたいた青年海外協力隊の経験者たちが、その復興の担い手として活躍している。

福島県



二本松駅に到着した青年海外協力隊の候補者を迎えるのは、にほんまつ地球市民の会。協力隊を目指す若者たちを支えようと市民が立ち上げた団体だ

復興を支える



二本松訓練所では、地域の人を対象に料理を通して世界を学ぶイベントを開催している

は、「協力隊の活動から戻ってきたら、そこで得た力を今度は福島でも発揮してほしい」と期待を込める。
**協力隊の経験を
福島で生かす**

その言葉に応えるように、二本松訓練所から巣立った協力隊員の中には、活動後に福島県に戻り、復興に携わっている人も多い。09年からチュニジアで作業療法士として活動した清山真琴さんもその一人だ。

清山さんは「体に障害のある子どもたちを元気にしたい」と現地に向かったものの、そこには日本の常識とは全く違う現実があった。「障害のある子は安静にさせておくのが一番」と言われ、リハビリ室さえなかったのだ。しかし、毎日足の曲げ伸ばしなどのリハビリを地道に続けたところ、車いすの女の子が徐々に歩けるようになった。やっと同僚たちの理解が深まってきたところだったが、中東地域で「アラブの春」が発生。治安悪化のため、いったん日本に戻ることに決まった。

その間に起こったのが東日本大震災だ。清山さんをはじめ一時帰国中の隊員に声がかかり、避難所となった二本松訓練所で2週間、

ボランティアとして活動することに。福島の人々は我慢強く控えて、「私はいいから向こうの人を助けてあげて」と言われてばかりだった。しかし、活動が思うようにいかないのは隊員時代に経験済み。清山さんは毎日避難所内を回り、被災者の話し相手になることで信頼関係を築き、不安や悩みを打ち明けてもらえるようになって少しずつニーズを見付けることができた。

これからの福島のためにできることをしたい。その思いから、再派遣を経て帰国後、清山さんは復興庁の職員として南相馬市に赴任。特に作業療法士として心配しているのは、未来を担う子どもたちだ。原発事故の影響により外で遊ばせるのをためらう保護者も多いため、室内でできる遊びを通して体力の向上を目指している。

「私は宮崎出身なので、インターンしたんだね」とよく言われます。でも、協力隊に行ったらこそ思うようになったのは、私はどこかの県出身ではなく、日本出身。だから今、福島のためにできることをしたいのです。

そう笑顔を見せてくれた清山さんのように、福島を元気にする青年海外協力隊として、協力隊経験者たちは復興庁や福島市役所、NGOの職員として活動したり、毎月訪問してボランティア活動をしたり、福島復興に奔走している。自分でできることで、もう一度、第二のふるさとが笑顔であふれるように。



チュニジアで活動した作業療法士の清山さんは南相馬市に移住し、子どもたちの体力強化に奮闘中。「味方はいると福島の人々に伝えたい」



[右] 訓練期間中には、農家や幼稚園などでお手伝いし、地域の人々と交流する
[左] 現地の言語をみっちり学び、住民へのアンケート方法といったスキルも身に付ける

